

令和6年第6回東浦町教育委員会定例会会議録

開催日 令和6年6月21日（金）
場所 東浦町役場 第1会議室

出席者の氏名

教 育 長	庄 子 亨	職務代理者	水 野 善 久
委 員	浅 田 謙 司	委 員	草 野 由美子
委 員	中 村 希代美		

出席職員の氏名

教 育 部 長	学校教育課長	生涯学習課長	スポーツ課長
学校教育課主幹兼指導主事	学校教育課統括課長補佐兼指導主事	学校教育課庶務係長	学校教育課主事

傍聴者 0名

会 議

開 会 午前9時30分

あいさつ

（ 教 育 長 ） 本日は雨がかなり強く降っており、今日又は明日に梅雨入りの宣言が出されるのでは、と思います。悪天候の中、お集まりいただきありがとうございます。時が経つのは早く、あと1か月で学校の1学期が終了します。多少の問題は発生しましたが、何とか子供たちは無事に1学期を終えられることを願っています。本日の議題には時間がかかるものも含まれており、急ぎである委員の方もいらっしゃると思いますので、挨拶をこれにて終わらせていただきます。本日もよろしくお願いいたします。

（ 教 育 長 ） 出席者5名を確認し、会議の成立を確認します。
議事に入る前に、日程第8「報告第21号 指定学校変更許可者について」は、個人情報保護のため、また、日程第9「報告第22号 東浦町機構改革案について」は、意思決定過程情報のため非公開とすることについて、ご異議ございませんか。

《全員異議なし》

（ 教 育 長 ） それでは日程第8及び第9は非公開といたします。

日程第1 令和6年第5回定例会会議録承認

日程第2 議案第21号 東浦町学校給食センター運営委員会委員の選任について

(教 育 長) 議案第21号の説明を求めます。

(学校教育課長) 議案第21号「東浦町学校給食センター運営委員会委員の選任について」を説明。

(教 育 長) 質疑を求めます。

《質疑なし》

(教 育 長) 質疑がございませんので、議案第21号について採決します。
異議のある委員の発言を求めます。

《全員異議なし》

(教 育 長) 議案第21号は原案のとおり承認いたします。

日程第3 教育長報告（令和6年5・6月）

【日 付】	【報 告 内 容】
5月14日(火)	全国町村教育委員長会総会
5月15日(水)	全国町村教育委員長会総会
5月16日(木)	教頭会議 知多地方教育事務協議会
5月17日(金)	全員協議会
5月18日(土)	片葩小学校スポーツ祭
5月21日(火)	新任校長学校訪問（生路小学校） 教務主任会議
5月22日(水)	北部中学校林間学校訪問
5月28日(火)	義務教育問題検討会
5月29日(水)	初任者研修
5月31日(金)	学校訪問（西部中学校）
6月2日(日)	スポーツ祭開会式
6月3日(月)	町制施行記念式
6月4日(火)	本会議 全員協議会
6月6日(木)	産業まつり推進協議会

6月 7日（金）	学校訪問（生路小学校）、市町村教育長会
6月 8日（土）	中央文化展
6月 9日（日）	町消防団操法大会
6月 10日（月）	本会議 一般質問
6月 11日（火）	本会議 一般質問
6月 13日（木）	本会議
6月 17日（月）	本会議
6月 18日（火）	本会議
6月 19日（水）	本会議
6月 20日（木）	学校訪問（片葩小学校）
6月 21日（金）	第6回教育委員会定例会

日程第4 教育委員報告 学校訪問（生路小学校）

（水野委員） 6月7日に生路小学校を訪問させていただきました。

当日は天気も良く、緑豊かな自然に囲まれた丘に立つ校舎には爽やかな風が吹き抜け、非常に心地よい学校訪問となりました。その恵まれた環境で、子供たちは明るく元気に学校生活を送っている印象を受けました。また、教職員に目を向けると、少し前まで病気で入院していたお二人の先生がいました。その先生方の穴を埋めるのが大変だったそうですが、それ以上に病欠だった二人が早期に復帰していたため、逆に周りが心配しているそうです。そういった周りの気遣いもあって、教員同士がとても仲がよいと感じました。校長先生と教頭先生の関係は、まるで古友や姉妹のように親しげでした。それらの要素が組み合わさり、教職員間のアットホームな雰囲気を育み、良好な学校運営を可能にしていると感じました。

特設研究授業を行う先生は、先述の早期復帰を果たした先生でした。その授業は「食生活を支える食料の産地」をテーマにした全時間中の1コマで、前回の授業で作成したであろう大きな日本地図が教室に掲示され、産地マップなるものができていました。子供たちは自分の好きな食材を選び、教科書やタブレットを使って調査学習を行っていました。廊下にも、過去の調査学習が画用

紙に描かれて貼られていました。そこには、子供たちそれぞれの個性と創意工夫があり、クイズ形式にもなっていて、大変興味をそそられる内容でした。きっと、調べた本人が、一番勉強になったのではないかと、思いながら私も勉強になりました。

研究主題である「主体的に学び、考えを深めることができる児童の育成」そのもので、実際に行われていることに驚きと納得を覚えました。再度申し上げますが、ハード面でも、ソフト面でも、すばらしい環境が整っている小学校で、子供たちと保護者の皆さんは幸せだと感じました。また、現職教育の発表が10月に控えているとのことで、さらなる成長が楽しみです。

教育委員報告 学校訪問（西部中学校）

（中村委員） 5月31日に西部中学校を訪問させていただきました。

現職教育のテーマを「主体的に課題を追求し、学びを深める生徒の育成」として、先生方は一生懸命に取り組んでいました。西部中学校には、地区の特性上、小学校から中学校までほぼ変わらない生徒構成で進んでいくため、生徒たちは幼少期からのキャラクターをなかなか変えられず、人間関係の難しさを感じていました。しかし、たとえば保健室で悩みを相談する生徒がいても、放課が終わると必ず教室へと戻ります。彼らの真面目さを強く感じました。

学校自体がコンパクトなため、先生と生徒の距離感も近く、先生方は全力で生徒たちの支援をしていました。特設研究授業では体育のマット運動が行われ、生徒たちは10組ほどに分かれてそれぞれ活動していました。指導教員は2名でしたが、周りを見ると各所で様々な先生が指導に参加し、全ての先生が一丸となって生徒を見ているような雰囲気、中学校の教育スタイルを感じることができました。しかしながら、授業の最後に知多事務所の方から本来、特設研究授業では他の教職員たちが自己の意見を言わないものとおっしゃっていました。私もそれが「特設研究授業」だったことを忘れるほどまでに各教科の先生が深く関与し、教科に関係なく彼らが生徒たちと一緒に学ぶ場となっていました。

今後は地域的な特性により、1クラスになる可能性が高いという新たな課題も見えてきました。中高一貫校の影響や卯ノ里地区の生徒が私立を受験する傾向が強いことから、来年度の新1年生の予定人数は約43名で、40名を下回ると1クラスになります。既にコミュニティ自体が小さいのに、更にクラス替えも無い状況では、新たな困難が生じるのではないかと感じました。

教育委員報告 学校訪問（片葩小学校）

（草野委員） 6月20日に片葩小学校を訪問させていただきました。教育委員として初めての学校訪問で緊張していましたが、自分の住む地域であり、子供たちが通った学校なので、その意味ではリラックス感もあり、あまり緊張しすぎることなく訪問できました。

印象的だったのは、技能強化の授業が型にはまらずに行われていたことです。具体的には、3年生の図工の授業で、子供たちは教室や廊下で絵を描いていました。床に座って描くため、姿勢は様々でしたが、子供たちは自由にリラックスしながら作品作りを楽しんでいたように思います。机の上で描くのが適している子供もいるでしょうが、一つの方法に固執せず、子供たちの可能性を広げられると感じました。5年生では、図工の要素を取り入れた書写の授業が行われました。この授業では校長先生が担当し、毛筆で「片葩」を書くことが課題でしたが、子供たちは墨以外にも絵の具を使用し、文字の色や背景を描くことも自由で、それぞれの発想で子供たちは表現をしていました。また、描く場所も自由で、教室だけでなく、大廊下にも作業スペースが設けられていて、そこで作業する子もいました。黒板に完成した作品が並べられており、文字の完成度だけでなく、各作品の魅力が感じられてとても良かったです。このクラスの子供たちは役場に作品を展示してほしいと教育長先生に交渉しておりました。実現すれば、子供たちに達成感を与えることができると思うので、是非考えてみて頂きたいです。

自由で柔軟な授業が行われている様子は新鮮で、子供たちは楽しみなながらも落ち着いて授業を受けていました。自由を与えた上で、必要なことは適切にこなせる力が子供たちにはあると感じました。これは日頃の教師たちの指導が効果を結んでいるのだろうと思いました。教師たちは子供たちの声をよく拾い、反応しており、そのおかげで教師と生徒たちの信頼関係が育まれていると感じました。

校長先生の方針により、このような自由で柔軟な環境で育つ片葩小学校の子供たちの未来が楽しみになる一日でした。

日程第5 報告第18号 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の委嘱について

（教育長） 報告第18号の説明を求めます。

（生涯学習課長） 報告第18号「地域学校協働活動推進員（地域コーディネータ

一)の委嘱について」を説明。

(教 育 長) 質疑を求めます。

《質疑なし》

日程第6 報告第19号 東浦町教育委員会名義後援について

(教 育 長) 報告第19号の説明を求めます。

(学校教育課長) 報告第19号「東浦町教育委員会名義後援について」を説明。

(教 育 長) 質疑を求めます。

《質疑なし》

日程第7 報告第20号 東浦町教育委員会への寄附について

(教 育 長) 報告第20号の説明を求めます。

(学校教育課長) 報告第20号「東浦町教育委員会への寄附について」を説明。

(教 育 長) 質疑を求めます。

《質疑なし》

日程第8 報告第21号 指定学校変更許可者について（非公開）

日程第9 報告第22号 東浦町機構改革案について（非公開）

日程第10 各課報告（令和6年6月・7月・その他）

(教 育 長) 事務局より説明を求めます。

(各 課 長) 各課報告について説明。

(教 育 長) 質疑を求めます。

(浅 田 委 員) 小学生国内研修の概要を教えてください。

(事 務 局) 今年度も「平和と防災」という観点で2日間、広島と神戸へ行きます。これまでは町の予算だけで行っていた研修ですが、昨年度から一部、受益者負担という考え方で、実費負担という形で徴収させていただいております。6月22日に一回目の研修会、7月19日に二回目の研修会を行います。

(浅 田 委 員) 前年度は何名参加されていますか。

(事 務 局) 18名参加されています。予算の都合上、毎年18名が定員とな

っております。

(水 野 委 員) 海外派遣は再開しますか。

(事 務 局) コロナ禍前に行っていたものを同じ形で再開はありません。ただ、外国語に触れ合う機会というわけで、海外派遣は無くとも、契約している ALT (外国語指導助手) の会社とイングリッシュキャンプを来年度に向けて準備しております。また、現地校とつなげてオンライン授業を行う、というのも契約に入っております。

一部の子が外国語に触れるのではなく、多くの子が外国語に触れる機会を提供する、という形に移行していくと考えております。

(教 育 長) 他に質疑を求めます。

《質疑なし》

閉 会 午前 10 時 24 分

会議録作成者 教育委員会事務局

令和6年第6回東浦町教育委員会定例会会議録承認署名

令和6年7月23日(火)

署名

庄子亨

水野善久

浅田謙司

中村 希代美

草野 由美子